

## 「行政手続コスト」削減のための基本計画

省庁名	厚生労働省
重点分野名	補助金の手続

局名	社会・援護局
----	--------

### ○社会福祉振興助成費補助金に関する手続

#### 1 手続の概要及び電子化の状況

##### (1) 手続の概要

- ・補助金の応募時  
助成金要望書等（押印が必要な資料あり）
- ・補助金の交付申請時  
交付申請書等（押印が必要な資料あり）
- ・参考指標  
応募件数：457 件  
採択件数：128 件  
交付申請件数：126 件  
支出決定件数：126 件

##### (2) 電子化の状況

現在、事業者からの助成金要望書及び交付申請書の提出は紙媒体で求めているところ。

## 2 削減方策（コスト削減の取組内容及びスケジュール）

- (1) 申請書類の電子化  
1 (2)に記載のとおり、現在、事業者からの助成金要望書及び交付申請書の提出は紙媒体で求めているが、今後3年をめぐりに電子化の可能な部分の検討を進める。
- (2) 申請書類の様式の見直し  
毎年度申請書等の様式を見直し、提出する書類の削減を図っているところだが、今後様式で求める情報のより一層の精査を行い、事業者の作業時間の削減を図る。  
(検討の例)  
・申請様式に記載を求めている法人の役員情報等の項目について、法人の既存資料（役員名簿等）で確認できる場合、当該資料の提供による代替を可能とする。

以上の取組により作業時間を20%削減することを目指す。  
なお、事業者からの簡素化等の要望はなかった。

## 3 コスト計測

### 1. 選定理由

社会福祉振興助成費補助金に係る民間事業者から（独）福祉医療機構に対する助成金の申し込みに関する全ての手続を対象とした。

### 2. コスト計測の方法及び時期

- (1) 現在の作業に要する時間について

平成29年5～6月にかけて一部の助成先法人に対しヒアリングを実施した結果、現在の作業に要する時間は概ね以下のとおりであった。なお、平成30年度以降についても5～6月頃にヒアリングを実施予定。

- ・助成金要望書

1件あたり2,124分 × 応募件数457件 = 970,668分

- ・交付申請書

1件あたり810分 × 交付申請件数126件 = 102,060分

作業時間計：1,072,728分

※なお、意見を聴取した複数の法人より、すでにここ近年の（独）福祉医療機構の取組により、大幅な行政手続の改善が為されている旨発言があった。

- (2) 削減方策の実施に伴う作業の削減時間

- ・削減方策の実施により、計214,500分程度の削減が見込まれる。